

就労の門戸広がる障がい者

平成25年4月1日から法定雇用率を引き上げ

障がい者の雇用率がこの4月から引き上げられました。別表のように民間企業は、従来の1.8%から2.0%、国・地方公共団体等は2.1%から2.3%に、都道府県等の教育委員会は2.0%から2.2%に障がい者の法定雇用率がアップしました。これに伴い障がい者雇用を義務付けられた民間企業の従業員数が56人以上から50人以上に変更され、就労意欲のある障がい者の門戸が少し広がりました。

事業主区分	法定雇用率	
	現行	平成25年4月1日以降
民間企業	1.8%	2.0%
国、地方公共団体等	2.0%	2.3%
都道府県等の教育委員会	2.0%	2.2%

京都府内障がい者の雇用状況について京都労働局が平成24年6月現在で調べたところ、報告企業1438社の実雇用率は1.8%で、当時の法定雇用率（1.8%）を達成していました。が、今回の雇用率アップでは各企業とも追いつけません。民間に雇用された障がい者数は6535人と過去最高を更新、企業規模別の雇用率では1000人以上の企業が1.93%で最も高く100〜299人規模が1.65%で最低でした。ちなみに京都府の関係機関、府内市町村など地方公共団体の障がい者雇用率は軒並み高く、京都府警本部の3.04%をはじめ各部門とも新しい雇用率を上回っています。

雇用された障がい者の種別は、身体障がい者5055人と圧倒的に多く、知的障がい者は1287人、精神障がい者は220人でした。民間企業に絞って京都府内の産業別障がい者雇用率を見ると「電気・ガス・水道業等」で4.35%、「生活関連サービス業」3.28%、「運輸業・郵便業」2.54%、「医療・福祉」2.38%、「不動産業・物品賃貸業」1.82%、「製造業」1.81%の順。この上位7業種は平成24年度の法定雇用率1.8%を上回っています。

法定雇用率とは

民間企業および地方公共団体は「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、それぞれの割合に相当する数以上の障がい者の雇用義務があり、この割合を法定雇用率といいます。

キング物流

仕分け台に聖護院大根の切干しと種類の違う鹿児島産の割り干し大根が積み上がると、台の周りには中国、韓国、フィリピンの人たちもまじって、いつせいに袋詰め作業が始まりました。京都市中央卸売市場に隣接の株式会社キング物流。ここは約100人の従業員中、24人が障がい者、うち知的障がい者は15人、記憶喪失など精神障がい者もいます。今春新入りの障がい者2人も黙々と切干しを詰め込んでいます。午後からはレモン、じゃがいも、みかんなども入荷して作業に彩りを添えています。夕刻4時ごろ袋詰め作業を終わりますが、量が多い時は6時ごろまで残業する時もあります。

また、菜の花の自家生産もしています。京都市西京区大原野の畑地4500坪に11月から翌年3月まで6トンを栽培、これには市立総合支援学校の生徒も実習カリキュラムとして関わり、採りたての菜の花を注文先の各量販店へ送り込んでいます。キング物流の川東輝雄常務は「昨日までの記憶がない人や、計算に弱い知的障がい者もいますが、外国人も含め作業効率は非常に高い。新しく障がい者の雇用率が引き上げられましたが、障がい者自身もさまざまな職場で早く仕事に慣れるよう頑張っしてほしい」と作業を見守っています。



株式会社キング物流

京都市下京区中堂寺南町10-1
代表取締役社長 稲葉文男。

平成9年10月創業、関東から九州間の中央市場、量販店、専門店、百貨店などへ包装加工した青果物を配送。

レストラン思風都



京都市北区から天神の北隣り、西大路通りに面して立つレストラン思風都（シーフード）。オーナー会長の

土井善子さんは、ここでレストランを始め、もう17年になります。土井さんは障がい者の就労に関心があつて、このレストランで聴覚障がい者と精神障がい者（入院中）の2人を雇用しています。土井さんは入院中の障がい者に「元気に回復するまで待つてますよ」と声をかけ

ます。聴覚障がいの青年は25歳で独身。両親と姉の4人家族で、みんな聴覚障がい者。夜はなるべく早く帰宅して家族だららんを楽しんでいます。最近、少し声が出せるようになって、お客から料理の注文が取れるようになったそうです。

土井さんは共同作業所で軽作業の彼らを見て「一般社会で十分働ける能力があるはずなのにもつたいない」と4年前に雇い入れ、ウエイトレスから料理の手伝いまでできるようになりました。ここの定番メニューは35品目を用意したお昼のランチバイキングで、幼児同伴の若いママさんにも好評のようです。

平成23年にはNPO法人中小企業家コンソーシアム京都をつくり、所属の10社が協同で佛教大学二条キャンパスにレストラン「アムリタ」を設立。土井さんを理事長に運営しています。ここは15人の障がい者が雇用契約しています。



レストラン思風都

26年前の昭和62年、左京区高野に京都初のシーフードレストランを開業、平成8年に有限会社「思風都」を現在の北区衣笠天神森町に移して開業しました。

